

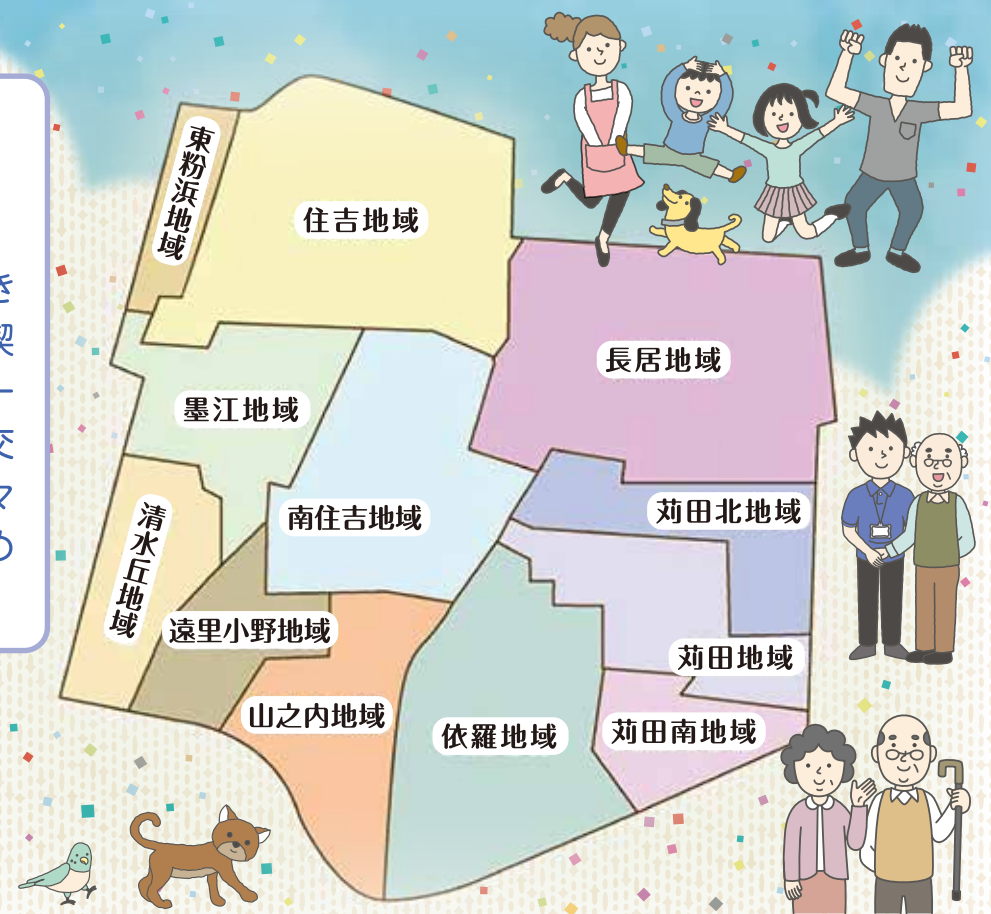
社会福祉協議会(社協)とは

「このまちで幸せに暮らしたい、学びたい、働きたい」という地域の皆さんの思いを実現するため、住民やボランティア、民間事業者、保健・医療・福祉などの関係機関や専門家、行政機関、当事者組織などとともに考え、話し合い、協力しながら、福祉課題を解決するための活動を行っています。社会福祉法に位置づけられ、民間性と公共性の両面を合わせ持つ特性を生かしながら、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざしています。



育む・支える・広げる 地域福祉

みなさんが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるように、ふれあい喫茶、子育てサロン、高齢者食事サービスの他、各地域ごとに世代間交流事業や、グループ活動など様々なつながりの輪づくり推進のための福祉活動に取り組んでいます。



① 相談したい

住吉区地域包括支援センター・住吉区西地域包括支援センター

介護・福祉・保健などに関する地域の高齢者の総合相談窓口として、高齢者やその家族からの相談・支援に応じたり、関係機関などと共に高齢者を支える地域づくりを進めています。

住吉区オレンジチーム(認知症初期集中支援事業)

区内の40歳以上で認知症に関する医療や介護サービスを利用していない方や、そのご家族からの認知症に関するご相談をお受けしています。



地域見守り相談室

支援が必要な高齢者や障がい者の見守り支援の拠点として、日頃から地域の実情に合わせて取り組まれている見守り活動のサポート、制度の狭間に陥りがちな方への相談支援活動、認知症高齢者等の行方不明時の予防、早期発見の取組みなどを行っています。

生活福祉資金貸付相談

深刻な生活課題を抱える方に対して、さまざまな資金の貸付を通じて、悩みに寄り添った支援を行います。また、民生委員や関係機関と連携を密に行い、適切な支援が行える体制づくりに努めています。

生活自立相談窓口

どこに相談していいのかわからない悩みや不安、多様な生活課題を相談支援員が一人ひとりに寄り添う支援を行い、各種関係機関と連携しながら一緒に解決の方法を探します。気軽にご相談ください。

あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

区(市)内在住で、認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活できるよう、あんしんさぽーとの契約内容を理解し、サービスを利用する意思のある方の福祉サービス利用援助や日常の金銭管理をお手伝いします。

車いすの 一時的な貸し出し

ケガや病気で車いすが一時的に必要な時、福祉教育でご利用になりたい時などに、無料で貸し出しを行っています。お気軽にお問い合わせください。
※介護保険などの制度が利用できる方は、そちらが優先になります。

② 参加したい やってみたい

ボランティア・市民活動センター

「ボランティア活動」や「市民活動」に関するさまざまな相談・支援、各種養成講座や研修会、交流会などの開催を行っています。ボランティア活動をしたい方とボランティアを必要としている方のニーズを把握したうえでボランティアの紹介・マッチング等のコーディネートを行っています。

災害ボランティア

災害ボランティアセンターは、大規模災害による被害が発生した際、被災地社協が中心となり、市区町村内に設置されます。全国から駆け付けるボランティアの受け入れや活動の需給調整などを行い、復興の一翼を担います。

介護予防教室(なにわ元気塾)

月に1回、地域の会館で専門家による「体操」や「栄養・口腔」、「認知症予防」のお話や実習など日常生活に役立つプログラムを実施しています。また、工作や音楽の活動などもあり、教室を通して地域の方々の交流も図ります。

老人福祉センター

大阪市在住の60歳以上の方にご利用いただけます。センター事業と同好会合わせて50種類以上の運動・文化活動を行っており、これらの活動を通じて活力と喜びを感じ、健康を保っていただくことを目的とする施設です。

活動助成

区社協では、福祉善意銀行の仕組みを活用した「福祉ボランティア活動応援資金助成」、共同募金の仕組みを活用した「地域福祉活動助成」を通じて、さまざまなボランティア・市民活動や地域福祉活動を始める、広げる取組みを応援しています。



③ 学びたい 知りたい

地域活動

各地域で実施されているさまざまな福祉活動やボランティアグループ、各種団体が実施している活動(地域・子ども食堂など)を支援しています。また、行政・関係機関とも連携し地域の福祉課題解決に向けて取り組んでいます。

生活支援体制整備事業

高齢者がお住まいの地域で元気に生き生きと暮らし続けられるよう、住民やさまざまな関係団体と連携しながら、介護予防の取組み、居場所づくり、生活支援の活動、高齢者の社会参加などに取り組んでいます。

福祉教育の推進

地域や学校などで「福祉」をわかりやすく伝えます。高齢者疑似体験や妊婦体験、視覚障がい者の手引き体験、当事者による講話、点字の体験学習などがあります。まずはご相談ください。

住吉区社会福祉施設連絡会

区内の子育て関連施設・高齢者関連施設・障がい者関連施設などの社会福祉施設が分野を超えて連携し、地域貢献のための行事の実施や研修会などを行っています。

救急カプセルの配布

「救急カプセル」は、自宅で具合が悪くなった時、救急車が必要な「もしも」の時、必要な情報をカプセルにまとめておき、救急活動に役立ててもらう取り組みです。※住吉区社会福祉協議会、地域見守り相談室(住吉区役所4階43番)の窓口で配布しています。

認知症サポーター養成講座

認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気です。「誰もが安心して暮らせるまち」をつくるために、認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り応援するサポーターを養成する講座です。